

KYOTO+20:地球環境京都会議2017 (京都議定書誕生20周年記念)



ISKANDAR
MALAYSIA
2006 - 2016

分科会1:都市間連携により促進する地球温暖化対策

イスカンダル・マレーシアにおける低炭素社会 ブループリント:優良都市!



ダトゥク・イスマイル・イブラヒム【訳注:ダトゥクは政府が授ける尊称】
イスカンダル地域開発庁(IRDA)最高責任者
2017年12月10日

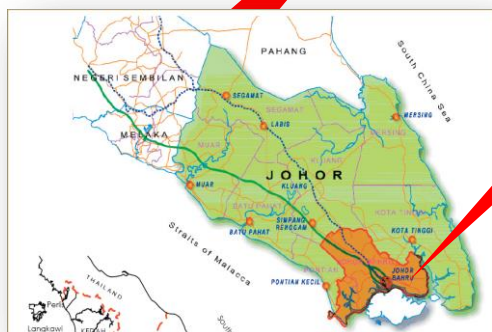
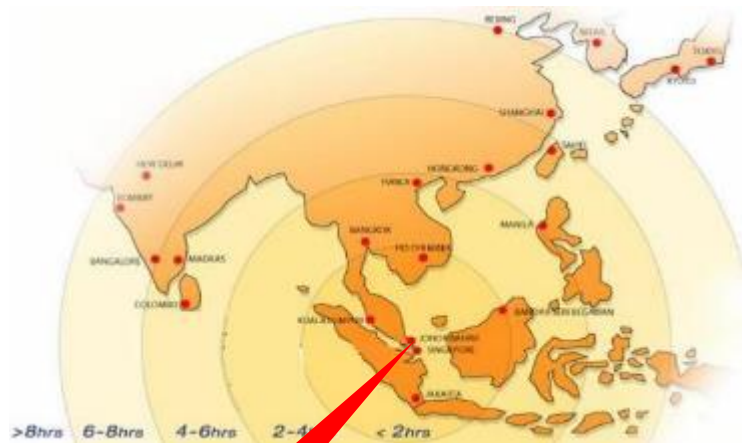


イスカンダル・マレーシア



イスカンダル・マレーシアはジョホール南部の主要開発回廊地域に位置している。総面積は2,217平方km(ジョホール州の12%)で、シンガポールの3倍の広さである。

イスカンダル・マレーシアには5つの地方自治体が含まれる。



指標	2015年	2025年(第2期総合開発計画)
人口(百万人)	1.95	3.0
1人当たりGDP(PPPベース、マレーシアリングgit)	33,634	42,631
労働力人口(百万人)	0.94	1.46
雇用数(百万人)	0.92	1.43

出典:2015/2016年ジョホール州経済報告書、ジョホール州経済企画局



イスカンダル・マレーシア： ビジョン



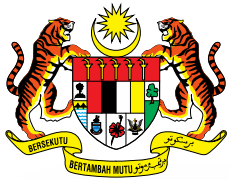
「国際的に認められた
強固で持続可能な大都市」

全体論的な生態系



イスカンダル・マレーシアの全体論的な生態系

レジリエント(強じん)な生態系は富の生成源により支えられており、コミュニティ間で等しく共有すべき地域の富を生み出す。生態学的資産を最適利用することにより富の生成と富の共有の均衡が保たれ、イスカンダル・マレーシアにおける生活の質を向上させ、世界をリードする地域に転換させる。これと併せて空間管理と適切な統治により、2025年までにビジョンと目標を実現することが可能になると考えられる。



低炭素のイスカンダル・マレーシアの開発



気候に関するマレーシアの公約: COP15コペンハーゲン会議(2009年12月17日)

YABダトゥク・セリ・ナジブ・トゥン・ラザク首相:「2020年までにGDPの排出集約度を2005年の水準から自主的に最大40%削減する」。COP21パリ会議——2030年までにGDPの排出集約度を2005年の水準から最大45%削減する。

2025年に向けたイスカンダル・マレーシアにおける低炭素社会ブループリント—COP18(カタールのドーハ、2012年)で初めて世界に発表

COP19ワルシャワ会議(2013年)—LCSBPIM(イスカンダル・マレーシアにおける低炭素社会ブループリント)のロードマップとブック「低炭素未来に向けた活動」(プログラムの実施)

COP20リマ会議(2014年)—イスカンダル・マレーシアの5つの地方自治体向け低炭素社会ブローチャー

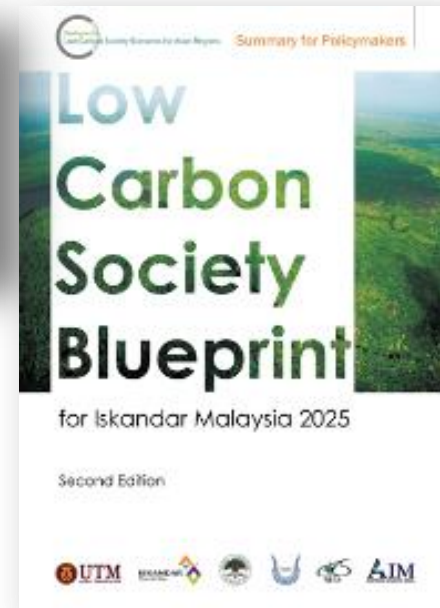
COP21パリ会議(2015年)—イスカンダル・マレーシアの5つの地方自治体向け2025年低炭素社会行動計画

COP22マラケシュ会議(2016年)—2015年イスカンダル・マレーシア温室効果ガスインベントリー; CASBEE; PESISIR

COP23ボン会議(2017年11月)—2016年イスカンダル・マレーシア温室効果ガスインベントリー; GAIA

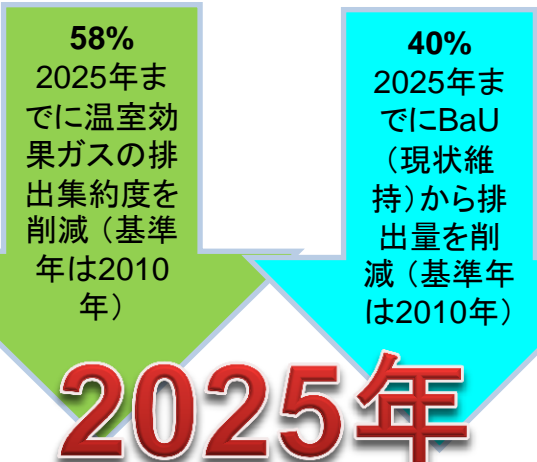
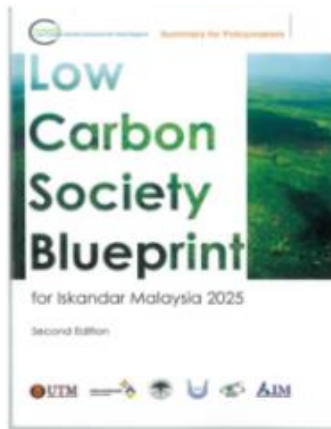


DOHA 2012
UN CLIMATE CHANGE CONFERENCE
COP18|CMP8





2025年に向けたイスカンダル・マレーシアにおける低炭素社会ブループリント



- 2025年に向けたLCSBPIM（イスカンダル・マレーシアにおける低炭素社会ブループリント）— 意思決定者、企業、NGO、その他関係者向けのグリーン化ガイド
- 12の活動を3つに分類：グリーン経済、グリーンコミュニティ、グリーン環境 = 281のプログラム
- それぞれの活動は、分析、一連のプログラム、可能とされる温室効果ガス排出量の削減からなる。
- 2012年11月30日、イスカンダル地域開発庁（IRDA）はカタールのドーハで開かれたUNFCCC（国連気候変動枠組条約会議）において、2025年に向けたイスカンダル・マレーシアにおける低炭素社会ブループリントを発表。目標：イスカンダル・マレーシアの温室効果ガス排出集約度を50%削減。
- 2012年12月にマレーシア首相が承認。
- 2017年：45件のプログラムを実施。
- 2016年は温室効果ガス排出集約度を10%削減。

活動名	テーマ
1. グリーンな総合的輸送手段	 グリーンな経済
2. グリーンな産業	
3. 低炭素型都市管理	
4. グリーンな建物・建築	
5. グリーンなエネルギーシステムと再生可能エネルギー	
6. 低炭素型のライフスタイル	 グリーンなコミュニティ
7. コミュニティの参画と合意形成	
8. 歩きやすく安全で暮らしやすい街づくり	 グリーンな環境
9. スマートな成長	
10. 緑と水のインフラと農村資源	
11. 持続可能な廃棄物管理	
12. きれいな空気環境	



低炭素関連出版物



2009年

2012年

2013年

2014年

2015年

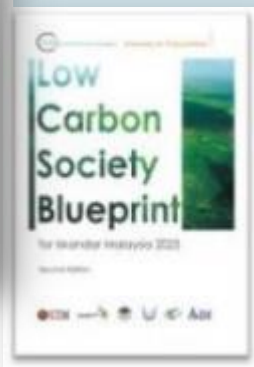
2016年

2017年

* 予備調査：ブローチャー『2025年低炭素都市・持続可能な Iskandar Malaysia』



* 『2025年に向けた Iskandar Malaysia における低炭素社会ブループリント (LCSBPIM2025) - 意思決定者向けサマリー』



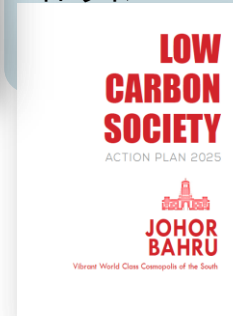
* LCSBPIM2025 年報告書全文
* 『2025年低炭素社会 Iskandar Malaysia へのロードマップ (行程表)』
* Iskandar Malaysia: 低炭素未来のための活動



* 5つの地方自治体向けの低炭素社会のブローチャー



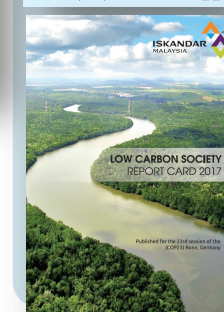
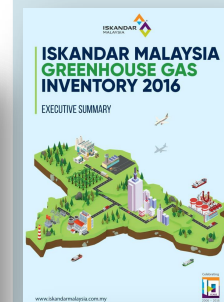
* Iskandar Malaysia の5自治体 (ジョホール・バル、中ジョホール・バル、パシール・グダン、クライ、ポンティアン) 向けの2025年低炭素社会行動計画
* IMELC (Iskandar Malaysia Eco-Live Challenge)
* グリーン経済ガイドライン



* 2015年 Iskandar Malaysia 温室効果ガスインベントリー
* CASBEE マニュアル類
* PESISIR



* 2016年 Iskandar Malaysia 温室効果ガスインベントリー
* GAIA
* 2017年低炭素社会成績評価書





低炭素社会 実施プロジェクト



グリーンな総合的輸送手段
—モビリティ管理システム

[http :
//www.jomlah.com.my/](http://www.jomlah.com.my/)



グリーン経済ガイドライン
(GEG)

現状：9部門につきGEGを
完了



エコライフチャレンジ活動

現状：過去5年間継続中。
2017年IMELC(イスカンダ
ル・マレーシア・エコライフ
チャレンジ)：346校、生徒
数33,000名に増加



低炭素村フェルダ・タイプ・
アンダック

現状：プログラム実施の
第2段階



イスカンダル・マレーシアの
歩道・自転車用レーンの接
続に関する基本計画とガ
イドライン

現状：完了



責任ある観光開発と生態
系保全

現状：他の沿岸地域も追
随



植樹活動

現状：

パシール・グダンで1,000
本、セリ・アラムで1,000本、
ルマ・イスカンダル・マレー
シアで218本、メディニ・イ
スカンダル・プテリで1,000
本をそれぞれ植樹



ルマ・イスカンダル・マレー
シアでのLCCFパイロットプ
ロジェクト

現状：基礎報告を完了
エネルギー・水節約の意識
向上活動とコンペティション
を継続中



自転車用レーンの整備

現状：スマートヘルシーシ
ティアンドコミュニティプロゲ
ラムの下でセリ・オースティ
ンで17キロメートル(2014
年2月15日)とセリ・アラム
で33キロメートル(2014年
5月18日)



1) タンジュン・ピアイ向け
総合海岸浸食防止計画、2
) シンパンプライ森林保護
区を州立公園として告示、
3) プラウ・ククップをイスカ
ンダル・マレーシアの1級エ
コツーリズム目的地として
戦略的に強化する計画



低炭素社会 実施プロジェクト



CASBEE ISKANDAR

CASBEEイスカンダル

現状：CASBEEパイロットプロジェクトとCASBEEマニュアル3件（建築、自治体、都市）を完了し、CASBEE イスカンダルセンターを整備中



GAIA

現状：2016年からの年次プログラム

2017年GAIA：市街地、商業用ビル、個人不動産の3分類



エネルギーモニタリング・報告システムの構築（BEMRS）

現状：2016年からの継続的プログラム。東京都および5つの地方自治体と協力



イスカンダル・マレーシアでのマイカーボンプログラム

現状：イスカンダル・マレーシアでのマイカーボンプログラムのためのワークショップ—2015年を開催し、地域開発庁がマイカーボン報告に参画



スンガイ・プライ管理計画

現状：

2017年に完了。この計画によりラムサール条約登録地と森林保護区をカーボンシンク（二酸化炭素吸収源）として適切に管理



PESISIR

現状：

2016年に創設され、イスカンダル・マレーシアの沿岸地域向けに沿岸部パートナーシップの取り組みを継続中



イスカンダル・マレーシアのグリーンなポータルサイト

現状：

完了

<http://iskandarmalaysia.com.my/green/>



イスカンダル・マレーシア温室効果ガスインベントリー

現状：2015年イスカンダル・マレーシア(IM)温室効果ガスインベントリーを完了し、2016年IM温室効果ガスインベントリーを準備中



5自治体向けLCS(低炭素社会)行動計画の実施

現状：2015年にイスカンダル・マレーシアの5つの地方自治体向けに5つのLCS（低炭素社会）行動計画を完成。2017年は地方自治体により20件を超すLCSプログラムを実施。これにはExco（運営委員会）の環境KPI（主要業績評価指標）を使用。



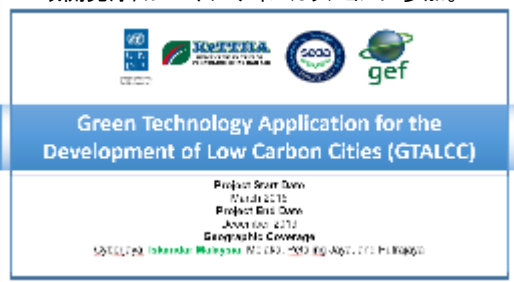
低炭素化社会(LCS)に関する 最新の進捗状況報告



持続可能な開発における優良都市としての
 Iskandar・マレーシアの国際的認
 知



2017年7月25～26日にパシフィコ横浜で催された第9回ISAP
(持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム)に参加。
 ジョホール州知事が基調講演を行い、IRDA(Iskandar地
 域開発庁)がパネルディスカッションに参加。



Iskandar・マレーシアは、低炭素都市開発のためのグリー
 ン技術応用(GTALCC)プロジェクトの実施都市の1つ



グリーン経済と将来の都市: Iskandar・マレーシアへの投
 資 (2017年10月4日)



エネルギーモニタリング・報告システム(BEMRS)構築
 のためのワークショップ
 2017年8月15～16日



合同閣僚委員会: エネルギー効率性ワークショップ
 2017年9月19～20日



グリーンアコードイニシアチブ賞(GAIA)の審査
 2017年9月10～13日



2017年Iskandar・マレーシア・エコライフチャレ
 ンジ(IMELC): 346校、生徒数33,000名に増加。最
 終は2017年11月。



Iskandar・マレーシアのグリーンなポータルサイトの
 完成

<http://iskandarmalaysia.com.my/green/>

促進: マジュリス・ダ
 エラ・ポンティアンと
 富山市のミニ水力発
 電プロジェクト

2017年: 地方自治
 体によるLCSプロ
 グラムの実施件数:

↑ **45** 件を超す
 LCS(低炭素社会)
 プログラム

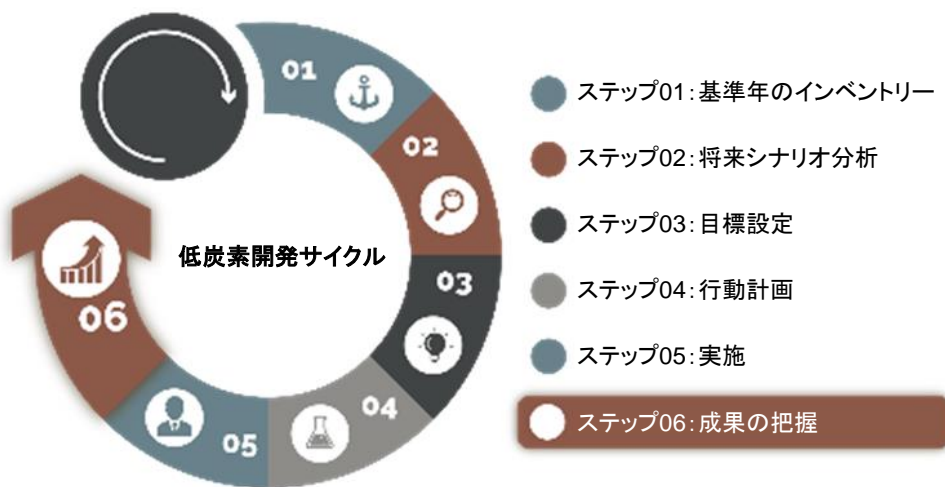




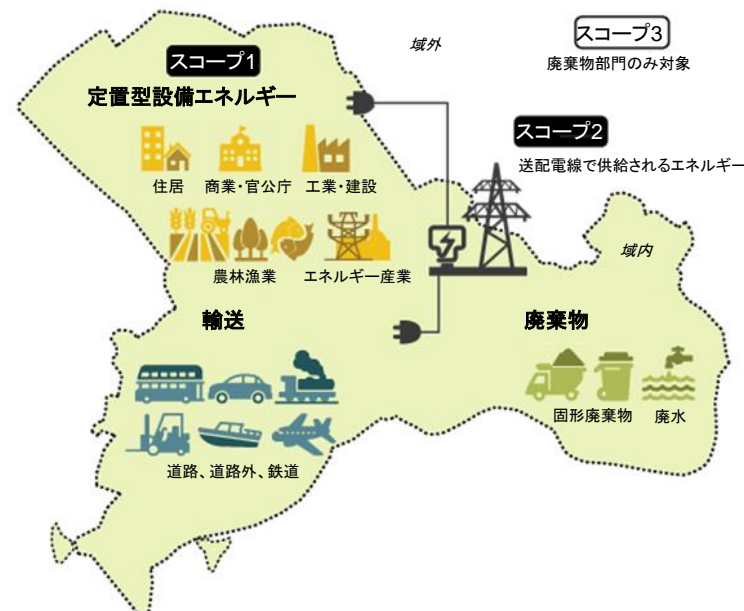
2016年イスカンダル・マレーシア 温室効果ガスインベントリー



- イスカンダル・マレーシアは、**低炭素開発サイクル**（2011～2016年：2025年までに58%という削減目標のための研究／科学からプログラムの実施）の**6段階のうち5つを完了した**。このサイクルの**第6段階—実施された低炭素社会プログラムの成果の把握—** → 2016年イスカンダル・マレーシア温室効果ガスインベントリー
- イスカンダル・マレーシアは、コミュニティでの温室効果ガス排出量測定のためのグローバルプロトコル（GPC）—国際的に認められた炭素モニタリング・報告の枠組み（世界資源研究所による）でUNFCCC（国連気候変動枠組条約）公認—を使用した。



低炭素開発サイクル



イスカンダル・マレーシアの温室効果ガスに関する基本レベル報告



2016年イスカンダル・マレーシア 温室効果ガスインベントリー



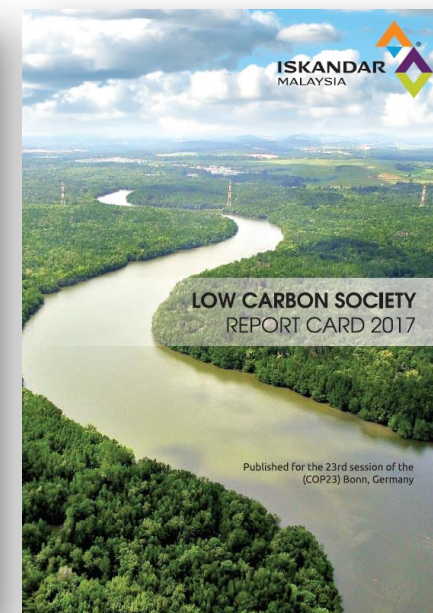
- このインベントリーによると、2016年のイスカンダル・マレーシア地域は二酸化炭素換算で1,554万トン。
- 総排出量の64.5%は定置型設備エネルギー部門、29.8%は輸送部門、5.7%は廃棄物部門による。
- 2016年のGDPの排出集約度は、100万マレーシアリングット当たりの二酸化炭素が0.221キロトン（ $\text{ktCO}_2/\text{百万RM}$ ）であり、**2010年の排出集約度 $0.248 \text{ ktCO}_2/\text{百万RM}$ と比べて10.7%の削減。**
- 2025年までに基準年（2010年）の排出量に対して58%を削減するという排出集約度目標を達成するため、2017年以降に必要な平均年間削減率は8.0%。



持続可能なイスクンダル・マレーシア 2017年11月16日 / マレーシアパビリオン



2つの主要文書を発行



2016年
イスクンダル・マレーシア
温室効果ガスインベントリー

2017年低炭素社会
成績評価書

ありがとうございました！

イスカンダル地域開発庁（IRDA）

本部：

#G-01、Block 8、Danga Bay、
Jalan Skudai 80200
Johor Bahru, Johor, Malaysia
電話：+ 607 233 3000
ファックス：+ 607 233 3001

支所：

Level 12-1, Mercu UEM,
Jalan Sentral 5,
Kuala Lumpur Sentral,
50470 Kuala Lumpur
電話：+ 603 2260 6777
ファックス：+ 603 2260 7999

www.facebook.com/iskandar.My

<http://iskandarmalaysia.com.my/green>